

## ● 星空保護区®認定制度とは

ダークスカイ・インターナショナル（旧・国際ダークスカイ協会）が2001年に始めた「ダークスカイプレイス・プログラム」（和名：星空保護区認定制度）は、光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える認定制度です。認定には、夜空の暗さ（星空の美しさ）だけでなく、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められます。

✓ ダークスカイ・インターナショナルによるページ（英語）

<https://darksky.org/what-we-do/international-dark-sky-places/>

✓ 星空保護区.org（星空保護推進機構による日本語での解説ページ）

<https://hoshizorahogoku.org/>

✓ 旧・国際ダークスカイ協会東京支部による解説ページ（更新終了）

<https://idatokyo.org/hogoku>

➤ 単に「星が綺麗に見える」ことだけを評価する認定制度ではありません。星空保護・光害対策に関する地域の理解と取り組みが、認定に不可欠な要素となっています。

## ● 星空保護区のカテゴリー

現在、5つのカテゴリーがあります。（加えて、新規申請受付を終了したカテゴリーが1つあります。）  
全てのカテゴリーの認定地を総称して、国内では「星空保護区®」と表記しています。

1. ダークスカイ・コミュニティ（2023年8月21日現在、世界で42ヶ所）
2. ダークスカイ・パーク（同、116ヶ所）
3. ダークスカイ・リザーブ（同、21ヶ所）
4. ダークスカイ・サンクチュアリ（同、17ヶ所）
5. アーバン・ナイトスカイプレイス（同、7ヶ所(南六呂師を含む)）
6. （新規受付終了）ダークスカイ・ディベロップメント（同、6ヶ所）

（2023年8月21日現在、世界で計209ヶ所）

申請カテゴリーは、地域の管轄・周辺状況により異なります。

カテゴリーの詳細は <https://hoshizorahogoku.org/idsp/>

## ● ダークスカイ・インターナショナルとは

ダークスカイ・インターナショナル（旧・国際ダークスカイ協会）は、光害問題に対する取り組みで先導的な役割を担う組織として、世界中で広く認知されています。1988年に米国で設立され、アリゾナ州ツーソンにある本部と世界24ヵ国に70以上の支部（2023.8現在）を有するNPO団体です。メンバーは天文関係者を中心に、照明技術者、環境学者、教育者、法律家など多岐にわたり、光害に関する様々な活動（星空保護区認定制度の他、フィールド調査、条例制定支援、啓発キャンペーン等）を行っています。

ダークスカイ・インターナショナル ウェブサイト（英語）：<https://www.darksky.org/>

- 南六呂師の認定について

南六呂師（福井県大野市）は2023年8月20日付（米国アリゾナ州現地時間）でアーバン・ナイトスカイプレイスに認定されました。日本では西表石垣国立公園（沖縄県石垣市・竹富町、2018年3月30日認定、ダークスカイ・パーク）、神津島（東京都神津島村、2020年12月1日認定、ダークスカイ・パーク）、美星町（岡山県井原市、2021年11月1日認定、ダークスカイ・コミュニティ）に続き4番目の星空保護区認定となります。アーバン・ナイトスカイプレイスのカテゴリでは世界7番目、アジア初の認定となりました。

（参考）西表石垣国立公園の認定時のリリース：<https://idatokyo.org/1198/>

（参考）神津島の認定時のリリース：<https://idatokyo.org/1596/>

（参考）美星町の認定時のリリース：<https://idatokyo.org/1694/>

- アーバン・ナイトスカイプレイスの主な認定条件（抜粋）

1. 人口1万人以上の自治体の居住エリア（または複数の自治体で合わせて人口5万人以上の居住エリア）の端から50 km以内に位置し、夜間アクセスが可能であること。
2. エリア内の公的な屋外照明について、光害対策基準（下記(i)~(iii)など）を定めた照明管理計画が発効されており、申請時に既存の屋外照明の全てが同基準に準拠していること。
  - (i) 照明器具は、フルカットオフ型（水平より上に光が一切漏れない形状）を使用
  - (ii) ランプの相関色温度は3000ケルビン以下（電球色）
  - (iii) 看板照明の点灯時間・輝度・面積制限 など
3. 近隣に、星空観察を阻害するまぶしい光源や、エリア内の夜間環境を悪化させる侵入光がないこと。
4. 光害防止の意識醸成を図るイベント（星空観望会、講演会など）が定期的実施されていること。

- 国内他地域の星空保護区を目指す動きについて

現在、星空保護区申請を目指して取り組みを進めている地域は複数ありますが、公式に表明しているのは以下の3自治体です。

1. 沖縄県国頭村 参考ページ：NHK 沖縄 <https://www3.nhk.or.jp/lnews/okinawa/20230707/5090023942.html>
2. 千葉県南房総市 参考ページ：東京新聞 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/261464>
3. 福島県三島町 参考ページ：福島民報 <https://www.minpo.jp/news/detail/20230721108938>

- 光害（ひかりがい）とは

過剰または不適切な人工照明の使用により、周囲にさまざまな悪影響が及んでいる状況のことです。具体的には、以下のような悪影響が挙げられます。

1. 夜空が明るくなり、星が見えにくくなる
2. 生態系への悪影響（特に夜行性生物、昆虫、鳥類、農作物など）
3. 人間生活への悪影響（まぶしさ、迷惑光、交通への影響など）
4. 人体の健康への影響（体内時計の乱れ）
5. エネルギーの浪費

- ダークスカイ・ジャパンへの取材申し込み・問い合わせ

まず [ochi@idatokyo.org](mailto:ochi@idatokyo.org) までご連絡ください。